



最新の不妊症診療がわかる！

生殖補助医療を中心とした新たな治療体系

CONTENTS

006 親子関係に関する民法の特例法について——石原 理

第1章 生殖補助医療の適応と意義—どんな患者さんが体外受精・顕微授精を受けるのか

- 010 体外受精・顕微授精の適応
体外受精・顕微授精の絶対適応と step up の基準——小田原 圭 小田原 靖
- 014 生殖補助医療の成功率を規定する因子——高橋 俊文 太田 邦明 神保 正利
- 018 子宮筋腫・内膜症と体外受精
その不妊機序と一般不妊治療・体外受精の有効性——小野 政徳 山田 悦子 河村 ともみ 他

第2章 生殖補助医療とその手技

採卵と麻酔—低侵襲な採卵手術

- 024 採卵困難症例と対応 採卵針の工夫など——瀬川 智也

体外受精—受精失敗を回避して、多くの良好受精卵を獲得する

- 029 体外受精で受精失敗を回避するために
split-ICSI・rescue-ICSI の意義——平岡 謙一郎 川井 清孝
- 033 顕微授精で受精失敗を回避するために
人為的卵子活性化——長谷川 久隆
- 037 顕微授精で受精卵の障害を低減するために
紡錘体の確認と Piezo-ICSI——奥山 紀之 京野 廣一
- 041 ヒアルロン酸結合能による精子選別 PICS の有用性——清水 勇聡 神山 洋
- 046 高倍率観察による精子選別
IMSI と ZyMot の有用性——家田 祥子

胚培養—着床率の高い受精卵を選別して妊娠率を向上させる

- 053 培養液と培養環境
one-step 培養液と sequential 培養液, pH 測定など——泊 博幸 詠田 由美
- 058 ヒト胚の発生と形態学的胚評価——大月 純子
- 063 タイムラプスによる胚評価法 その臨床的意義——湯本 啓太郎 見尾 保幸
- 071 PGT-A による染色体正常胚の選別
その適応と臨床的意義——原田 枝美 河野 康志

胚移植と子宮内環境—良好な子宮内環境に受精卵を確実に移植する

- 077 胚移植失敗の原因と回避 移植胚数と胚移植の基本的な手技 ————— 佐藤 卓 水口 雄貴
- 083 着床を促進する因子 内膜スクラッチ・エンブリオグルー ————— 大石 元
- 089 慢性子宮内膜炎・子宮内細菌叢と着床
子宮内環境の評価法と治療法 ————— 黒田 恵司
- 093 着床時期検査の実施法と有用性 ————— 松林 秀彦
- 097 子宮内膜増殖不全に対する多血小板血漿 (PRP) 療法 ————— 久須美 真紀 堤 治
- 102 SEET 法による子宮内環境の調整法 ————— 後藤 栄
- 107 免疫操作法 (1) Th1/Th2 とタクロリムス ————— 中川 浩次
- 111 免疫操作法 (2) アスピリン・ヘパリン・免疫グロブリン・脂肪乳剤・
プレドニゾロン・ヒドロキシクロロキン ————— 福井 淳史 山谷 文乃 柴原 浩章

胚凍結—受精卵を効率的に安全に凍結する

- 117 凍結胚移植の内膜調整
自然周期・ホルモン補充周期・排卵誘発周期移植の概要と特質 ————— 向田 哲規
- 122 新鮮胚移植と凍結胚移植の安全性 ————— 岩佐 武 湊 沙希 山本 由理

第3章 生殖補助医療の調節卵巣刺激

- 128 卵胞発育の最新理論解説とランダムスタート法
なぜ3日目からの刺激なのか、ランダムスタートでどう変わったか ————— 黄 海鵬 高井 泰
- 132 卵巣刺激法の選択と AMH・AFC 卵巣予備能にあわせた刺激法を ————— 浅田 義正
- 136 卵巣過剰刺激症候群 (OHSS) 回避の最近の考え方 ————— 北原 慈和 岩瀬 明

卵巣刺激薬

- 140 クロミフェン・レトロゾールを用いた調節卵巣刺激 ————— 唐木田 真也 加藤 恵一
- 145 rFSH 製剤・ホリトロピンデルタ (レコベル®) の使い方と
有用性 ————— 松山 玲子 藤本 晃久 西井 修
- 149 ホルモン受容体陽性乳がん患者に対する妊孕性温存療法における
アロマターゼ阻害薬を併用した調整卵巣刺激の意義 ————— 前沢 忠志 池田 智明 鈴木 直
- 155 自然周期採卵 (natural cycle) の意義 ————— 貝嶋 弘恒 藤城 栄美 米山 剛一



最新の不妊症診療がわかる！

生殖補助医療を中心とした新たな治療体系

内因性 LH サージ抑制法

- 160 Long 法・Short 法 ————— 銘苅 桂子
- 163 凍結融解胚移植の治療成績がよいのはなぜ？ ————— 吉田 淳
- 165 プログステロンによる新しい LH サージ抑制
PPOS 法による調節卵巣刺激 ————— 山田 愛 塩谷 雅英

LH サージ誘発法 (trigger)

- 171 hCG 投与とそれ以外の LH サージ誘発法
double/dual trigger・r-hCG とその臨床的意義 ————— 杉山 力一 中川 浩次

第4章 生殖補助医療時代の一般不妊診療—検査や治療の意義と限界

内分泌学的検査

- 178 各種ホルモン測定の実施法と評価法 FSH・LH・E₂・P₄ ————— 片桐 由起子
- 181 インスリン抵抗性の検査と評価法 生殖補助医療での活用法 ————— 北村 誠司
- 184 甲状腺ホルモンと不妊 TSH・FT₄・FT₃・抗甲状腺抗体 ————— 吉原 愛
- 188 プロラクチンと不妊 ————— 林 正美 大道 正英
- 192 卵胞発育モニタリングと基礎体温 排卵日予測の現在と未来 ——— 白藤 文 宮崎 有美子 折坂 誠

卵管疎通性検査と治療

- 196 卵管疎通性検査の実施法と評価法 ————— 佐藤 健二
- 200 クラミジア検査の適応と診断法 ————— 中林 章
- 202 子宮鏡下選択的通水と卵管鏡下卵管形成術
どのような場合に ART に切り替えるか ————— 田島 博人
- 206 腹腔鏡検査の意義と適応 体外受精を見据えて ————— 宇津宮 隆史

子宮因子

- 212 office hysteroscopy どこまでできるか？ ————— 升田 博隆
- 217 子宮内病変とその治療
子宮奇形・子宮内膜炎・子宮内ポリープ・子宮筋腫 ————— 栗林 靖
- 221 子宮内膜蠕動様運動の検査法とその評価 ————— 吉野 修 本田 雅子 大須賀 穰他

原因不明不妊症・PCOS への対応

- 225 原因不明不妊症に対する卵巣刺激 クロミフェン・レトロゾール・hMG ————— 熊澤 由紀代
- 228 多嚢胞性卵巣症候群の診断と治療
診断とレトロゾールによる排卵誘発 ————— 松崎 利也 湊 沙希 岩佐 武

人工授精の実際

- 233 子宮内授精と頸管内授精 ————— 木村 寛子 内田 浩
- 236 人工授精のタイミングと hCG 投与, 黄体補充の
プロトコール ————— 福原 理恵 淵之上 康平 横山 良仁
- 239 人工授精の際の精子調整・精子凍結の方法と
留意点 ————— 福岡 美桜 山田 満稔 宇津野 宏樹 他

男性不妊—検査

- 245 精液検査の実施法と評価法 どういう場合に何を疑うか ————— 湯村 寧 齋藤 智樹 竹島 徹平
- 250 泌尿器科的診察・陰嚢超音波・CT/MRI ————— 大橋 正和 森田 伸也 高松 公晴
- 255 男性不妊のホルモン測定の適応と実施法 ————— 佐藤 雄一 小川 総一郎 小島 祥敬
- 258 重症男性不妊に対する染色体・遺伝子検査の
適応と意義 ————— 小宮 顕
- 263 抗精子抗体の意義 ————— 柴原 浩章 本田 晴香 武田 和哉 他

男性不妊—治療

- 267 男性不妊症に用いられる薬物療法の種類と実施法 ————— 白石 晃司
- 271 精索静脈瘤根治術の適応と有効性 ————— 辻村 晃
- 274 simple TESE と microdissection TESE の適応と実施法 — 岡田 弘 岩端 威之 杉本 公平
- 278 逆行性射精の診断と治療 精子採取法 ————— 小林 秀行

第5章 提供精子・提供卵子

- 282 精子提供と提供精子の需要, 子どもの出自を知る権利 ————— 吉政 佑之 浜谷 敏生
- 286 卵子提供とその問題点 ————— 久具 宏司
- 290 子宮移植の現状 ————— 阪埜 浩司 木須 伊織 青木 大輔

表紙・本文デザイン 土屋みづほ／表紙画像 © Shutterstock